

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定による

教育委員会の点検・評価

(令和2年度対象)

令和3年7月

富津市教育委員会

目 次

| | | |
|----|---|----|
| I | はじめに | |
| 1 | 本市の点検・評価の概要 | 1 |
| 2 | 教育委員の活動状況 | 2 |
| II | 点検・評価 | |
| 1 | 学校教育の充実 | 4 |
| | （1）教育総務課の取組 | 6 |
| | （2）学校教育課の取組 | 8 |
| | （3）教育センターの取組 | 10 |
| | 外部評価者による評価 | 13 |
| 2 | 生涯学習の充実、青少年健全育成の推進、文化・芸術活動の推進、 文化財の保護と活用 | 15 |
| | （1）生涯学習課の取組 | 16 |
| | （2）公民館等の取組 | 19 |
| | ア 中央公民館 | 19 |
| | イ 富津公民館・埋立記念館 | 21 |
| | ウ 市民会館・峰上地区公民館 | 23 |
| | 外部評価者による評価 | 25 |
| 3 | スポーツ・レクリエーションの振興 | 26 |
| | （1）生涯学習課（スポーツ振興係）の取組 | 27 |
| | 外部評価者による評価 | 29 |

I はじめに

1 本市の点検・評価の概要

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定により、毎年、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その報告書を議会に提出するとともに公表するよう定められています。

また、同条第2項では点検・評価に当っては、教育に関して学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

富津市教育委員会では、これに基づき、平成20年度の事業から毎年、点検・評価を実施してきました。

今般、令和2年度の点検・評価が終了しましたので報告します。

市民の皆様は、教育委員会が行っている日常の業務や課題を知っていただき、一層のご支援を賜りたいと考えています。

(2) 報告書の構成

「富津市教育施策」の施策指標とそれに対する到達点を3分野に分けて明示しながら、取組の実際と自己評価及び学識経験者2名の評価と意見を記載しました。

また、学識経験者の評価と意見は、分野ごとにまとめていただきました。

評価 A：事業の効果が現れている。

B：事業の効果が概ね現れている。（一部に問題がある。）

C：事業の効果があまり現れていない。（多くの問題がある。）

富津市教育委員会

令和3年3月31日現在

| 職 名 | 氏 名 |
|----------|---------|
| 教 育 長 | 岡 根 茂 |
| 教育長職務代理者 | 小 坂 洋 子 |
| 委 員 | 坂 部 充 洋 |
| 委 員 | 池 田 亨 |
| 委 員 | 嶋 野 和 正 |

2 教育委員の活動状況

(1) 定例会議等……………毎月開催、必要に応じて臨時に開催

- 4月23日・富津市社会教育委員の委嘱について
 - ・義務教育諸学校（市立小学校及び中学校）の教科用図書の取扱い方針を定めることについて
 - ・令和2年度教科用図書君津採択地区協議会委員の選出について
 - ・令和2年度富津市立小学校及び中学校の夏季休業日を定めることにつき教育委員会の承認を求めることについて 等
- 5月28日・富津市育英資金貸与条例の一部を改正する条例案について
 - ・令和2年度富津市一般会計予算教育費6月補正予算（第5号）案について
 - ・令和2年度富津市一般会計予算教育費6月補正予算（第6号）案について
 - ・富津市社会教育委員の委嘱について 等
- 6月25日・富津市学校評議員の委嘱について 等
- 7月30日・富津市立小学校及び中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について
 - ・令和元年度教育委員会の点検・評価に係る報告書の作成並びに議会への提出及び公表について
 - ・令和3年度使用教科用図書の採択について 等
- 8月20日・令和2年度富津市一般会計予算教育費9月補正（第8号）案について 等
- 9月24日・台風第12号対応により中止
- 10月29日・令和2年度富津市立小学校及び中学校の冬季休業日を定めることにつき教育委員会の承認を求めることについて 等
- 11月19日・令和2年度富津市一般会計予算教育費12月補正予算（第9号）案について
 - ・令和3年度富津市立小学校及び中学校の学年始め休業日及び夏季休業日を定めることにつき教育委員会の承認を求めることについて 等
- 12月24日・令和2年度富津市教育委員会被表彰者の決定について
 - ・富津市文化財第10次指定について 等
- 1月28日・富津市教育施策について
 - ・富津市学校歯科医の委嘱について 等
- 2月15日・富津市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について
 - ・富津市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
 - ・富津市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則を廃止する規則の制定について
 - ・令和2年度富津市一般会計予算教育費3月補正予算（第12号）案について
 - ・令和3年度富津市一般会計予算教育費当初予算（第1号）案について
 - ・令和2年度末退職教職員に対する教育功労被表彰者の決定について 等
- 3月25日・令和3年度富津市学校教育の指針を定めることについて
 - ・富津市立小学校及び中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について

- ・富津市学校給食調理場管理運営規則の一部を改正する規則の制定について
- ・富津市スポーツ推進委員の委嘱について
- ・富津市公民館運営審議会委員の委嘱について 等

(2) 教育委員会協議会……教育委員会の検討、協議の場

6月25日 ・教育委員会の点検・評価（令和元年度対象）について

(3) 総合教育会議……市長、教育委員会により構成され、大綱の策定、教育条件の整備等
重点的に講ずべき施策等協議・調整を行う。

12月24日 ・第1回総合教育会議

(4) 「富津市教育大綱」の策定、「富津市教育施策」の変更

平成28年12月に「富津市教育施策に係る大綱」を定めましたが、現在の教育環境の変化を踏まえて令和2年12月に新たな「富津市教育大綱」を策定しました。

また、平成28年度から令和2年度までを対象期間とした「富津市教育施策」を総合教育会議において、見直しました。

学校の果たすべき役割が、多様化、高度化となる教育環境に対応するために対象期間を5年から3年（令和3年度～令和5年度）に、基本施策を6つから2つにまとめ、わかりやすくコンパクトな内容に変更しました。

(5) 教育長及び教育委員の研修等

6月26日 千葉県都市教育長協議会全体会

(6) 学校訪問

新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）の影響により中止

(7) その他

関係団体・機関の会議等は感染症の影響により多くが書面開催となった。

入学式は入学生と保護者、卒業式は卒業生、在校生代表並びに保護者で実施した。

Ⅱ 点検・評価

1 学校教育の充実

『富津市教育施策』の施策目標と到達点

| 指 標 名 | 平成27年度 | 令和2年度 (目標値) | 令和2年度 (到達点) |
|--|------------------|----------------|----------------|
| きめ細かな指導のために配置された指導員数 | 外国人指導助手 (ALT) 3人 | 3人 | 3人 |
| | 自立支援指導員 4人 | 4人 | 3人 |
| | 学校適応指導相談員 2人 | 2人 | 2人 |
| | 指導補助教員 5人 | 7人 | 7人 |
| | 英語指導員 3人 | 6人 | 3人 |
| | 特別支援教育指導員 5人 | 8人 | 5人 |
| | 読書指導員 0人 | 3人 | 0人 |
| 学力向上推進事業 保護者アンケートによる「子供が確かな学力を身につけるための取組」に対する保護者の肯定的な評価の割合 | 平成28年度 | 令和2年度 (目標値) | 令和2年度 (到達点) |
| | 79.9% | 90.0% | 86.8% |
| 教職員研修事業 自分の地域を肯定的に捉えられる子供の割合 | 平成28年度 | 令和2年度 (目標値) | 令和2年度 (到達点) |
| | 84.0% | 90.0% | 88.6% |

| | | | |
|--|--------|----------------|----------------|
| 教職員が地域に関する理解を深め、教育の質の向上を図ることにより自分の地域の良さが回答できる子供の割合 | 未実施 | 70.0% | 92.7% |
| 体力向上プログラムを活用した教科体育の充実 | 平成27年度 | 令和2年度 (目標値) | 令和2年度 (到達点) |
| 運動能力証交付率 (県平均との比較) | 139.0% | 148.0% | 交付中止 |
| 体力・運動能力調査で県平均を上回った調査項目の割合 | 72.9% | 80.0% | 調査中止 |
| 子ども110番の家、地域子ども見守り隊事業 | 平成27年度 | 令和2年度 (目標値) | 令和2年度 (到達点) |
| こども110番の家の協力軒数の割合 | 13.0% | 17.0% | 15.0% |
| 地域子ども見守り隊員数の割合 | 20.0% | 29.0% | 20.0% |

| (1) 教育総務課の取組 | 教育委員会の自己評価 | | | | | | | | | | |
|--|---|--------------------------|-----|-------------------------|----------------------|-----------------------|---|---------------------------|--------|-------------------------|----------|
| <p style="text-align: right;">B</p> <p>①主な事業と決算見込額</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">・学校教育振興基金費（108,723,870円）</td> <td style="width: 50%;">積立金</td> </tr> <tr> <td>・学校施設整備事業（275,951,222円）</td> <td>工事請負費（242,688,227円）等</td> </tr> <tr> <td>・学校教育振興費（13,776,916円）</td> <td>理科教育振興備品（1,386,000円） 教材備品（2,899,612円） 図書備品（2,953,875円）等</td> </tr> <tr> <td>・天羽中学校校舎改修事業（34,280,000円）</td> <td>校舎外構工事</td> </tr> <tr> <td>・空調設備設置事業（58,300,000円）等</td> <td>空調施設移設工事</td> </tr> </table> | | ・学校教育振興基金費（108,723,870円） | 積立金 | ・学校施設整備事業（275,951,222円） | 工事請負費（242,688,227円）等 | ・学校教育振興費（13,776,916円） | 理科教育振興備品（1,386,000円） 教材備品（2,899,612円） 図書備品（2,953,875円）等 | ・天羽中学校校舎改修事業（34,280,000円） | 校舎外構工事 | ・空調設備設置事業（58,300,000円）等 | 空調施設移設工事 |
| ・学校教育振興基金費（108,723,870円） | 積立金 | | | | | | | | | | |
| ・学校施設整備事業（275,951,222円） | 工事請負費（242,688,227円）等 | | | | | | | | | | |
| ・学校教育振興費（13,776,916円） | 理科教育振興備品（1,386,000円） 教材備品（2,899,612円） 図書備品（2,953,875円）等 | | | | | | | | | | |
| ・天羽中学校校舎改修事業（34,280,000円） | 校舎外構工事 | | | | | | | | | | |
| ・空調設備設置事業（58,300,000円）等 | 空調施設移設工事 | | | | | | | | | | |
| <p>②令和2年度の取組の概要と効果（成果・課題等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の教育環境の変化に対応するために、市長と教育委員会の連携・協力により12月に総合教育会議を開催し、新たな「富津市教育大綱」、「富津市教育施策」を定めた。 ・育英資金の貸与について、感染症の影響により家計が急変し、修学が困難になり退学とならないよう貸与の範囲に大学院生、専修学校の専門学校生を追加し、大学生、大学院生又は専修学校の専門学校生に月額10万円以内を貸与することができるよう条例を改正した。 ・天羽中学校校舎改築事業の外構工事が4月に完成し、関連する全ての工事が完成した。 ・閉校した小中学校の空調設備について、安全性等を確認しつつ、存続校の特別教室へ移設することによって、教育環境の整備が図られた。 ・国の交付金及び国土強靱化緊急対策事業による地方債を活用し、市内全小中学校のトイレ改修工事を実施するにあたり、使用できるトイレと改修するトイレを区分し、巡回的に工事を実施する必要があることから年度内完了が見込めないため、トイレ改修工事及び施工監理委託を繰越明許とした。 ・上記のほか、校舎等の緊急修繕を実施した。 | | | | | | | | | | | |
| <p>○今後の取組の方向性（改善策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校のトイレ改修工事を完了し、学校環境の改善を図る。 ・教職員の働き方改革の取組として、学校で個々に管理する児童・生徒の情報を一元管理する「校務支援システム」を導入することで、業務の効率化、個人情報等の情報セキュリティの強化を図る。 ・青堀小学校体育館の耐力度調査を実施し、校舎とともに青堀小学校全体の今後の施設整備方針の検討を行う。 ・学校施設については、富津市教育施策のとおり安心・安全な教育環境づくりに努めるとともに、「富津市小・中学校再配置計画」、「富津市学校施設整備基本計画」に基づき、施設の老朽化対策及び教育の資質向上を図るため計画的な施設整備を実施する。 | | | | | | | | | | | |

◎教育部全体での取組（教育かわら版の発行）

教育委員会が日頃行っている業務等について、市民に理解していただくために教育かわら版を平成20年度から発行しており、今年度で通刊52号を迎え、計3号を区長回覧し、併せて富津市ホームページに掲載した。

7月発行の50号は、教育委員の紹介、感染症の影響により緊急事態宣言による臨時休校の再開、移動図書館「さくら号」新ステーションのお知らせ等、11月発行の51号は、運動会・体育祭の報告、指定された学校以外への就学申請、2月発行の52号は、ドローンを活用したプログラミング教育、学校給食における地産地消の推進、就学援助制度・育英資金制度の紹介等、多種多様な内容の紹介に努めている。

財政収支改善策による経常経費削減のための検討は必要だが、今後も引き続き内容の充実に努め、発行は続けていきたい。



50号（令和2年7月発行）



51号（令和2年11月発行）



52号（令和3年2月発行）

| (2) 学校教育課の取組 | 教育委員会の自己評価 | B |
|---|------------|---|
| <p>①主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児教育無償化事業【施設利用給付】(82,353,820円) ・ 要保護及び準要保護児童・生徒就学援助事業(22,681,664円) ・ 特別支援教育児童・生徒就学援助事業(2,309,456円) ・ 特別支援教育指導員(9,717,025円) ・ 学校教育活動再開支援事業【新型コロナウイルス感染症対策】(25,282,888円) ・ 学校教育活動継続支援事業【新型コロナウイルス感染症対策】(9,788,109円) ・ 学校給食管理運営事業(117,619,785円) ・ 給食材料費(130,941,900円) 等 | | |
| <p>②令和2年度の取組の概要と効果(成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校再配置 <ul style="list-style-type: none"> 再配置によって、小学校11校が8校、中学校5校が3校となった。 統合に伴い、仲間が増え、学習、行事、部活動等充実した学校生活を送っている。 登下校が遠距離となった児童・生徒に対し、スクールバスを運行し、児童・生徒の安全を確保した。 ・ 幼児教育無償化事業 <ul style="list-style-type: none"> 令和元年10月から幼児教育無償化が実施され、子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図った。 ・ 要保護及び準要保護児童・生徒就学援助事業 <ul style="list-style-type: none"> 準要保護児童・生徒として277人(前年度比+27人)を認定し、学用品費・給食費・児童への通学費補助・医療費等の援助を行った。 ・ 特別支援教育児童・生徒就学援助事業 <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級在籍の児童・生徒67人(前年度比△3人)を認定し、学用品費・給食費等の援助を行った。 ・ 特別支援教育指導員 <ul style="list-style-type: none"> 通常学級で過ごす特別な支援を必要とする児童・生徒のために、5人の指導員を非常勤で雇用し、延べ5校に派遣した。 ・ 学校教育活動再開支援事業・学校教育活動継続支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 感染症の影響による小中学校の臨時休業からの段階的な学校の再開に際し、学校保健特別対策事業補助金(国1/2補助)を活用し、自動手指消毒器などの保健衛生用品等を整備し感染症対策の強化を図った。また、小中学校の手洗い場等の蛇口を自動水栓に整備し感染症対策を徹底しながら教育活動を継続した。 ・ その他 <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の健全な育成と各種事故防止を図るため、学校と警察及び教育委員会が学校警察連絡委員会を組織している。 令和2年度も連携を密にし、互いに協力して指導の万全を期した。 ・ 学校給食管理運営事業 | | |

共同調理場2箇所（大貫、天羽）及び単独校調理場（青堀小学校）の調理等業務並びに受配校への配送等業務を、民間会社に委託し継続して実施した。

また、令和元年度に策定した「富津市学校給食共同調理場整備基本構想」に基づき「富津市学校給食共同調理場整備基本計画」を策定した。

- ・給食材料費

令和2年4月7日に感染症の影響による緊急事態宣言が発令され、令和2年6月12日まで給食は未実施となったが、年間172日の給食を実施して、児童・生徒の心身の健全な発達と学校における食育の推進を図った。

また、給食で提供する主な食材の放射性物質検査を行い、検査した延べ16品目全てで放射性物質は「不検出」だった。

○今後の取組の方向性（改善策等）

- ・要保護及び準要保護児童、生徒就学援助、特別支援教育児童、生徒就学援助事業

就学援助2事業は、市の財政負担が高まる傾向にあるが、平成30年度から実施している小学校入学前に就学援助入学準備金を支給するなど、引き続き保護者の経済的負担の軽減を図っていく。

- ・特別支援教育指導員

今後も各学校のニーズに応じた増員に向け、さらなる充実を図っていく。

- ・学校給食管理運営事業

現在3箇所ある調理場を統合し、新たな共同調理場が完成するまで、既存各調理場の安定した運用のため、施設及び厨房機器等に必要な維持補修、修繕等を実施していく。

「富津市学校給食共同調理場整備基本計画」に基づき、新共同調理場の建設に向けて、測量業務、地質調査及び設計業務を実施していく。

- ・給食材料費

安全・安心で安定した給食の実施に向け、給食従事者研修の充実、食材の安全確保に努める。また、給食に使用する食材の地産地消を推進し、各調理場での取組を公表する。

- ・小中学校再配置計画の推進

今後も一定規模を有する教育環境へ改善を図るため、学校再配置について、検討していく。

| (3) 教育センターの取組 | 教育委員会の自己評価 | B |
|--|------------|---|
| <p>①主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上推進事業 (15,208,494円) ・教職員研修推進事業 (17,020円) ・外国語指導助手配置事業 (11,385,000円) ・ICT教育推進事業 (46,791,000円) 等 | | |
| <p>②令和2年度の取組の概要と効果(成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上推進事業 <ul style="list-style-type: none"> 少人数指導の推進のため、指導補助教員7人を、小学校3校、中学校3校に配置し、授業中の個に応じた指導や適応指導教室での学習支援を行った。 また、放課後学習教室パイロット校として、天羽小学校・青堀小学校・飯野小学校に指導補助教員4名を配置し、希望者を募り放課後学習教室を実施した。アンケート調査の結果、子供たちの学習意欲の向上や学習の場の確保についての効果が伺えた。 学力向上推進委員会では、本市の学力の課題が「思考して書く」ことのため、その意欲向上と読書活動の推進に力を入れた。 市全体での「読むこと」「書くこと」の目標値を定め、各学校での取組を依頼した。 その結果、「読むこと」について、『読書が好き、どちらかというが好き』と答えた児童・生徒の割合は、小学生が85%（目標値：92%）中学生が74%（目標値：88%）児童・生徒の読書時間について、小学生で「1日16分以上読書をする児童の割合」が52%（目標値：60%）、中学生で「全く読書をしない生徒の割合」が65%（目標値：50%以下）であった。 「書くこと」については、「授業で黒板に書いてあることを書き写している児童・生徒の割合」は、小学生が79%（目標値：89%）、中学生が91%（目標値：93%）、『自分の考えを書きなさい』と発問されたときに自分の考えをまとめて書くことができる児童・生徒の割合について、小学生が80%（目標値：81%）、中学生が68%（目標値：79%）であった。 生徒指導・教育相談体制として、自立支援指導員3人を小学校3校・中学校2校に、適応指導相談員2人を適応指導教室に配置した。 また、県から派遣されたスクールカウンセラーは、小学校3校、中学校3校に配置し、延べ1,234件（令和元年度1,633件、399件の減）、スクールソーシャルワーカーは、中学校1校に配置し、延べ100件（令和元年度157件 57件の減）の相談活動を行った。 精神科の専門医による相談は、10件（令和元年度8件）、教育センターへの電話及び来所による相談は14件（令和元年度19件）であった。 昨年度の10月から「いじめ相談メール」を開設し、相談の窓口を広げた。 QRコード付きのカードを全児童生徒に配付し、友人関係や学校生活についての悩みがある場合の相談方法について周知した。 ・体力・運動能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> 感染症対策により、「体力・運動能力調査」の実施が見送られ、運動能力証の交付も中止された。 ・教職員研修推進事業 | | |

夏季教職員研修会及びその他の予定していた研修は、感染症の影響により、中止となった。

また、教科指導員・食育指導員等の学校からの要請も、臨時休業や感染症の影響のため激減し、派遣回数は延べ23回（令和元年度113回）、うち食育指導員派遣21回、教科指導員2回だった。

・外国語指導助手配置事業

今年度も3人のALTを雇用し、全小・中学校において活用できるように配置した。派遣契約のため、各校での打合せや担任との連携が充実した。

更に、小学校の外国語・外国語活動には3人の英語指導員の雇用を継続し、ALTとともに担任の指導を補助した。

・ICT教育推進事業

1人1台の情報端末を活用した学習活動に耐えうる高速大容量の校内通信ネットワーク環境を、全小・中学校で整備した。授業での活用を開始するために、導入時研修を全教職員に対して実施するとともに、導入マニュアルを作成し配付した。

更に、GIGAスクールサポーター（ICT支援員）2名を配置し、各校に訪問（月に5回程度）して授業支援やICT環境整備支援を行った。

・富津市通学路安全対策協議会

通学路の安全確保に向けた取組を関係機関（富津警察、国・県道路関係者及び市役所関係部署、PTA代表等）が連携して推進し、登下校時における児童生徒の安全を確保するため、各学校から報告のあった通学路の危険箇所の合同点検を行い、危険箇所の改善等が行われた。

○今後の取組の方向性（改善策等）

学力向上推進事業では、「読むこと」「書くこと」の向上に重点を置く取組を継続した。

特に、「読むこと」では読書好きの子供を育てることを大切にして、積極的な情報提供等に努め、「書くこと」では記述に強い子供を育てることへの取組を充実させたい。

また、今年度から市内全小学校で放課後学習教室が実施となったので、今後、アンケート実施・分析を行い、より一層充実した活動にしていきたい。

運動能力証交付率については、感染症の影響により、児童生徒の運動機会の減少や運動量の低下が懸念されるため、目標値はそのまま据え置くこととした。

教職員研修推進については、感染症の拡大防止に努めながら、研修機会をしっかりと提供できるように体制を整備する。今後も教育現場のニーズや今日的な課題に応じた研修の実施に努めるとともに、研修内容の更なる充実を図っていきたい。

外国語教育については、令和2年度から小学校5・6年において外国語が教科化となったので、教職員研修の充実や英語指導員の配置の工夫など指導の充実を図りたい。

ICT教育推進事業については、令和2年度中に市内全小中学校の高速通信ネットワーク環境の整備と、1人1台の情報端末の整備が完了した。

一方、教職員全員に授業用の情報端末の配備が完了していないこと、複数の学級で同時

に接続した際には通信状況に不具合が出る場合があること、授業での利活用を促進するためのICT教育推進体制の確立など新たな課題解決にむけて、対応しているところである。

今後も、教育センター職員がきめ細かな学校訪問を心がけ、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、教職員の指導力向上などの様々な側面からも引き続き支援を行う。

外部評価者による評価

外部評価者（Ⅰ）の評価

B

意見

新型コロナウイルス感染症の収まりも見えずいろいろと規制の多いなか、令和2年度は富津市教育施策（平成28年度～平成32年度）の最終年度を迎え各課等の取組は目標達成に向けラストスパートを掛け各事業等が実施されたことと思います。

まず、教育総務課ですが、目標となる新たな「富津市教育大綱」の策定と「富津市教育施策」の変更を行いました。現在の教育環境の急速な変化に対応すべく新たな考え方をとり入れた試みは評価に値すると思います。新たな目標に向けた各課等の今後の取組に期待します。また、学校施設の整備につきましては、特別教室の空調設備の整備や各学校のトイレ改修が進んでおり、担当者の努力が視えます。しかし、各施設の老朽化はかなり進んでいることから児童・生徒の安心、安全な教育環境を目指し予算確保に努め、更なる整備促進をお願いいたします。

「教育かわら版」は、教育委員会の業務や取組みについて市民に伝える情報誌として非常に有効な手段の一つだと思います。発行担当者は、各自の業務があるなか発行に向け編集作業等苦慮されていることと思いますが、今後も続けていただきたいと思います。

学校教育課では、学校再配置により統合となった学校の1年目ということでいろいろとご苦労された年であったと思います。一年を通して登下校のスクールバス等問題点などありましたら早急な対応をお願いいたします。コロナ禍のなか各家庭の家計にもかなりの影響が出てきていると思慮されます。援助が必要と思われる児童・生徒に対し、現場の先生方等を通して援助事業の周知を図り利用促進に繋げていただきたいと思います。また、感染症対策強化による小中学校の蛇口の自動水栓化は評価いたします。老朽化が進む3つの調理場ですが、現状での安定運営はかなりの負担が必要と推測いたします。新共同調理場建設に向け「富津市学校給食共同調理場整備基本計画」が策定され調査設計業務の準備が進められています。安全性向上や経済面からも補助金やPFI方式等検討しながら予算確保に努め新共同調理場の早期完成を目指していただきたいと思います。

教育センターでは、児童・生徒の学力向上に向け各種の取組が行われております。少人数指導のための指導補助教員や外国語・外国語活動のための英語指導員など、各学校においては必要な人材であると思います。多くの指導員の確保ができるよう予算確保に努めていただきたいと思います。勉強の基本は読み・書きであることは確かです。文章を理解し自分の意見を文書で示せることは生涯、自分の自信に繋がるものと考えます。今後も更なる強化を図っていただきたいと思います。また、現在ICT教育の推進が図られているようですが、現状ではICTの環境が充分とは言えない状況とお見受けいたします。各学校からは様々な要望が出てくると推察いたしますが、学校訪問などを通してきめ細やかな支援ができるよう予算確保等に努めていただきたいと思います。通学路の安全確保は必要不可欠です。しかし、完璧な安全を確保することは残念ながら非常に困難と思われます。最近も他市において児童が犠牲となる痛ましい交通事故が発生してしまいました。市内の通学路の安全確保に向け警察署は元より関係機関、各種団体等の協力をいただき更なる安全確保に取り組んでいただきたいと思います。

意見

新型コロナウイルス感染防止のため、緊急事態宣言による休校が6月まで続く中、学校教育の充実のために「富津市教育大綱」並びに「富津市教育施策」に基づいた様々な施策を実施されていると思います。

トイレの洋式化については、各学校で改修が進んでおり、次年度以降にも継続的に取り組めるようにしていることで早期の解消が期待される場所です。調理場についても、整備基本計画に沿った建設について進めていただきたいと思います。

学校現場では、学校再開後の児童生徒のコロナ感染防止対策への対応が大変であったことと推察されます。しかし、教育委員会により手洗い場の自動水栓整備などのきめ細かな対応をしたことで、学校でのクラスターの発生もなく教育活動の継続が図られていると思います。

子どもたちが心身ともに健康で成長していくためには、学校と教育委員会、関係機関との連携は欠かせないものです。授業の進め方や学習規律等を協議し、共通実践し9年間の学校生活を過ごすことで身に付くことも多いと思います。今、コロナ禍において新しい生活様式が求められていますが、幼（保）・小・中で必要な生活習慣等を共通実践できるようにすることも必要であると思います。

児童・生徒数が減少傾向にあるにもかかわらず、特別な支援を必要とする児童・生徒は増加傾向にあります。そのような中、子どもたちの多岐にわたる困り感に支援員が寄り添ったり、個別に指導したりすることで、落ち着いて取り組めたという成果も多々見られます。特別支援学級、通常学級の中で、困り感のある子どもたちのためにも、市雇用の指導員数の目標値達成をお願いします。

学力に関する項目では、「読むこと」「書くこと」とともに目標値を下回っています。休校に伴いなかなか困難であったのではないかと推察します。さらに、ICT教育に係る教育機器の整備が本市でも積極的に進められていることは、これからの社会を生き抜く子どもたちにとってとても有意義であると思います。今後も学習指導を通してどのような「資質・能力」の育成を目指すのかを明確にしながら、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力など」「学びに向かう力、人間性など」の3つの柱を中心とした教育が推進できるよう教育委員会としてのマネジメントをお願いします。また、その実践をする人材の確保は重要です。直接、児童・生徒に関わる学校教育ではなおさらです。教育委員会として、優秀な人材確保を進め、今以上に積極的に施策の実現に向けた一層の努力を期待いたします。

2 生涯学習の充実、青少年健全育成の推進、文化・芸術活動の推進、文化財の保護と活用

『富津市教育施策』の施策目標と到達点

| 指 標 名 | 平成27年度 | 令和2年度 (目標値) | 令和2年度 (到達点) |
|------------------------|----------|----------------|----------------|
| 人材バンク「まちの先生」の利用 件数 | 45件 | 90件 | 31件 |
| 図書利用冊数 | 25,260冊 | 26,000冊 | 15,216冊 |
| 青少年相談員連絡協議会事業の 参加者数 | 943人 | 1,000人 | 1,175人 |
| 子ども会育成連絡協議会事業の 参加者数 | 263人 | 300人 | 230人 |
| 指定・登録文化財の件数 | 85件 | 87件 | 87件 |
| 史跡見学会・講演会参加者数 | 754人 | 850人 | 150人 |
| 市民文化祭参観者数 | 17,469人 | 18,000人 | 13,299人 |
| 公民館・市民会館利用者数 | 100,049人 | 110,000人 | 76,823人 |
| 埋立記念館入館者数 | 1,445人 | 2,000人 | 1,426人 |

| (1) 生涯学習課の取組 | 教育委員会の自己評価 | B |
|---|------------|---|
| <p>①主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育委員関係費 (36, 180円) ・ 生涯学習推進事業 (73, 832円) ・ 生涯学習バス運営事業 (4, 636, 660円) ・ 図書館費 (含：移動図書館事業) (8, 667, 671円) ・ 子ども会活動事業 (319, 361円) ・ 青少年相談員活動事業 (286, 476円) ・ 市内遺跡発掘調査事業 (2, 249, 050円) ・ 文化財・文化財施設環境整備事業 (3, 102, 633円) ・ 史跡案内板・説明板設置事業 (88, 000円) ・ 高岩山のサル被害防止事業 (2, 460, 000円) 等 | | |
| <p>②令和2年度の取組の概要と効果 (成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習推進事業等 <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習情報提供誌を発行し、まちの先生や出前講座などにより学習を支援した。 感染症の影響で利用者は減少した (令和元年度80件7, 774人、令和2年度31件5, 783人)。 ・ 地域学校協働活動 <ul style="list-style-type: none"> 「放課後ルーム」(放課後、週1回)を中央公民館・富津小・環小の3箇所で実施し、児童の体験活動や学習を支援した。 緊急事態宣言が解除になった6月末以降再開し、登録児童数は、42人(富津小16人・環小13人・中央公民館(大貫小)13人)で、合計人数では令和元年度と同数であった(令和元年度：富津小12人・環小23人・中央公民館(大貫小)7人)。 「学習サポート会」は、塾に通っていない中学3年生を対象に、数学・英語を中心とした学習の支援を目的としており、11月から2月までの間、中央公民館で週1回実施した。なお、社会教育指導員、家庭教育指導員・支援員、市民ボランティアが中心となり運営し、令和2年度登録生徒数9人(富津中5人・大佐和中2人・天羽中2人)で、令和元年度(富津中4人・大佐和中3人)より2人増えた。 ・ 生涯学習バス運営事業 <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、緊急事態宣言期間中の運行を休止したため、運行回数、利用延べ人数ともに、災害等のあった令和元年度よりさらに減少した(平成30年度201回、5, 871人→令和元年度174回、4, 664人→2年度57回、1, 167人)。 感染症対策として、44人の乗車定員を約20人と半数程度に減らし、安全な運行に努めた。 ・ 図書館費・移動図書館事業 <ul style="list-style-type: none"> 感染症予防のための閉館した時期もあり、前年度よりさらに減少した(平成30年度31, 416冊、令和元年度21, 253冊、2年度15, 216冊)。 令和2年2月から図書管理システムを導入したことに続き、10月からはWEBリクエ | | |

ストサービスを開始し、市のホームページの専用フォームから申込みができるようになった。

また、開館時間外にも本の返却ができる「本の返却ポスト」を市役所に設置した。

除籍した図書を市民に提供する「図書リサイクル会」（年2回開催）は、感染症予防のため開催することができなかった。

・子ども会活動事業

富津市子ども会育成連絡協議会の事業のうち、感染症予防のため、ジュニアリーダー研修会・育成者講習会は中止となったが、育成大会は、距離を保ったビンゴ大会のみ実施された。

・青少年相談員活動事業

主な行事が感染症予防のため中止となる中、君津地区青少年相談員連絡協議会で4市が共同して実施した「万羽鶴に願いをのせて～新型コロナをふきとばそう！～」に3年生以上の全児童（1,175人）が参加して約3千羽を折り、4市合わせて2万羽を超える鶴を、各市の会場に展示した。

・市内遺跡発掘調査事業

造海城跡、上野遺跡2の発掘調査を実施するとともに、平成30年度・令和元年度に調査した計8遺跡の整理作業を行い、発掘調査報告書を刊行した。

・その他文化財関係事業

文化財周知板設置事業では、老朽化に伴う付替えを大満横穴群（岩坂）、銅造釈迦如来及び両脇侍坐像（篠部・万福寺）で実施した。

文化財・文化財施設環境整備事業では、古墳等の草刈作業に加え、災害防止を目的とした弁天山古墳の樹木伐採等を行った。

「鋸山」の文化財指定関係では、鋸南町と共同で文化庁へ認定申請書を提出したが、認定には至らなかった。

高宕山サル被害防止事業では、老朽化した電気柵の改修、発信器の装着、事業対象である高宕山周辺に生息するニホンザル個体群を対象に行動域の調査、指定地域の生息環境調査を行った。

内裏塚古墳群など市内の史跡見学会や出前講座・講演会などへの参加者は感染症の感染対策による自粛が影響し、150人（前年度比△217人）であった。

○今後の取組の方向性（改善策等）

生涯学習推進事業については、君津地方4市での推進大会へ積極的に参加するとともに、生涯学習情報提供誌の発行や「まちの先生」事業を継続して実施する。

「放課後ルーム」は、家庭教育指導員・支援員に加え、社会教育指導員や市民の協力のもと、地域学校協働活動の推進に向け、地域・家庭・学校が連携した「活動の場所」や「居場所づくり」を目指し、地域学校協働本部の設置につなげたい。

生涯学習バスは平成29年度から1台となっているが、市民からの要望も高いため、市政施行50周年事業として1台購入し、2台とし、利便性の向上を図る。

図書施設については、令和元年度に導入した図書管理システムによって、利用者自身が端末から蔵書検索やリクエストができるようになったサービスを活かした運営をしていくとともに、蔵書の整理等を進め、利用しやすく居心地の良い環境づくりに取り組む。また、富津市にふさわしい図書館の整備について社会教育委員会議で検討し、図書館整備基本計画を策定する。

図書施設の資料及び設備の充実を図るための寄附金を、有効に活用し、計画的に運用するため、図書整備基金を設置する。

文化財については、保護と継承に努め、保存と活用を図る。

各種開発から埋蔵文化財を守り、また、開発により保存できない場合には、発掘調査による記録保存の策を講じる。

史跡等公有地化整備事業として、内裏塚古墳単体の公有地化を進めるとともに、内裏塚古墳群全体としての国史跡化を目指し、文化庁・千葉県など関係機関と調整を図る。

鋸山については、日本寺エリアが県指定の名勝となっていることから、石切場跡までの範囲拡大、更に国名勝への格上げに取り組む。

市内の文化財周知板の整備を進め、新設や老朽化に伴う更新のほか、指定物件以外でも重要性の高いものについては、地域団体等の協力も得て説明板を設置する。

その他、文化財関係事業として、市の歴史や文化財に関して、市のホームページの充実を図るなど、広報活動に努める。

| | |
|--|---------------------|
| <p>(2) 公民館等の取組 ア 中央公民館</p> | <p>教育委員会の自己評価 B</p> |
| <p>①主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館管理運営事業 (13,018,542円) ・中央公民館学級・講座関係活動事業 (295,869円) 等 | |
| <p>②令和2年度の取組の概要と効果(成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備 消火ポンプ、照明器具を中心に修繕を行い、2階和室に空調機を設置し、施設の管理運営に支障を来たすことのないように努めた。 ・学級・講座事業 課題別(教養・工芸・健康等)に11の主催学級・講座等(前年度比△3)を開設したが、感染症予防のため、開催数や開催回数が減少した。学級・講座全体の開催数は、46回(前年度比△50回)・参加延人数は、452人(前年度比△961人)であった。 ・市民文化祭事業 感染症の影響により中止となった。 | |

| |
|---|
| <p>○今後の取組の方向性(改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館、富津公民館、市民会館の3施設においては、公民館のあり方を教育委員会、社会教育委員、公民館運営審議会に諮り、検討を進めている。 ・学級・講座事業については、令和2年度は感染症予防対策による閉館の影響で回数・延べ人数ともに減少したが、今後も事業内容や学習手法等を十分検討し、利用者や各種団体等と連携して、参加しやすい環境づくりを進め、市民の学習意欲の向上と地域文化の発展に努める。 ・市民文化祭事業は、感染症予防に努めながら、実行委員会を中心に充実した市民文化祭となるよう取り組んでいく。 |
|---|

| No. | 講座の名称 | 開催回数 | 参加延人員 | 講座の主旨と内容 |
|-----|---------------|------|-------|--|
| 1 | さわやか女性セミナー | 3 | 40 | 暮らしに役立つ課題や社会情勢などについて、見学、講義、実践を行いながら学習する。 |
| 2 | 折り紙教室 | 4 | 23 | 伝承折り紙から創作折り紙まで、アートとしても楽しめる折り紙の作品づくりを学習する。 |
| 3 | 大人のためのわらべ歌教室 | 3 | 40 | 昔から歌い継がれてきたわらべ歌について理解を深め、その楽しさを子供達に伝えていくための、取組を支援する。 |
| 4 | はつらつウォーキング教室 | 4 | 32 | ウォーキングのコツ、注意点及び効果などを学び、正しく美しく快適に歩くことにより、心身の健康増進を図る。 |
| 5 | 富津フォトハイスクール | 5 | 64 | 一眼レフカメラで実際に風景などを撮りながら撮影技術を学習する。(初心者の方にも丁寧に指導します)。 |
| 6 | 外国人のための日本語講座 | 9 | 82 | 在日外国人が日本で生活するうえで言葉の壁を少しでも減らし、地域の人とのコミュニケーションがとれるようにする。 |
| 7 | いきいき健康体操教室 | 4 | 47 | 自分の体の状態と弱点を知り、身の周りにある用具を使って、弱点を克服する体操を学び、グラウンドゴルフを行い、心身の健康増進を図る。 |
| 8 | みんなのプログラミング教室 | 2 | 23 | 生活の様々な面で活用されているコンピュータの仕組みを知り、興味や理解を深めることで、より主体的に活用するためのきっかけを作る。 |
| 9 | 男の悠遊教室 | 5 | 36 | 男性を対象に日常的に習慣化出来る体操の習得、料理・園芸などの体験、健康等をテーマにした講演を取り入れ、心身の健康増進を図る。 |
| 10 | ICT教室 | 1 | 8 | 昨今の急速なICTの発展によって、生活が大きく変化をしている中で、AIやロボットなどのICTがこれからの社会や生活にどのような影響を与えるのかを考える。 |
| 11 | キルト教室 | 6 | 57 | 生活の中で不要となった布を「より華やかに、品良く、用・即・美」をコンセプトに創作して、リサイクルの推進を図る。 |
| | 合計 | 46 | 452 | |

| | | |
|---|------------|---|
| イ 富津公民館・埋立記念館 | 教育委員会の自己評価 | B |
| <p>①主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富津公民館管理運営事業（20,978,134円） ・富津公民館学級・講座関係活動事業（271,855円） ・成人式事業（823,283円） ・埋立記念館管理運営事業（2,142,790円） 等 | | |
| <p>②令和2年度の取組の概要と効果（成果・課題等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備 <p>富津公民館では、冷暖房設備の附帯設備であるF C U系統冷温水配管の修繕等を実施し管理運営に支障を来たすことのないように努めた。</p> ・学級・講座事業 <p>課題別（歴史文化・手工芸・園芸・健康等）に10の主催学級・講座等（前年度比△6）を開設したが、感染症予防のため、開催数や開催回数が減少した。</p> <p>全開催数は、70回（前年度比△29回）、学級・講座全体の延人数は、871人（前年度比△1,117人）であった。</p> ・成人式事業 <p>富津公民館において、令和3年1月10日に成人式を開催するために新成人代表の実行委員会を立ち上げ企画を検討したが、緊急事態宣言に伴い式典は中止となった。式典の代替え事業として、今年度の新成人対象者437人に成人の日にあわせお祝いメッセージ集を送付し、1月中に記念品及び中学3年生時に本人が書いた「二十歳への手紙」を郵送した。</p> ・埋立記念館は、761名の利用者であった。（前年度比△665人） | | |

| | | |
|---|--|--|
| <p>○今後の取組の方向性（改善策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館、富津公民館、市民会館の3施設においては、公民館のあり方を教育委員会、社会教育委員、公民館運営審議会に諮り、検討を進めている。 ・学級・講座事業については、令和2年度は感染症予防対策による閉館の影響で回数・延べ人数ともに減少したが、今後も事業内容や学習手法等を十分検討し、利用者や各種団体等と連携して、参加しやすい環境づくりを進め、市民の学習意欲の向上と地域文化の発展に努める。 ・令和3年富津市成人式は、新成人代表による実行委員会が「自らが作る成人式」として式典の企画を検討したが、緊急事態宣言の発令により式典は中止となった。 <p>今後の成人式は実行委員会での実施を継続し、コロナ禍でも、実施できる企画を検討していく。</p> ・埋立記念館は、平成27年度から、入館料の無料化と平日の無人化を実施することとなった。今後も入館者数の増加に向け、展示パネルの改装や広報等に努める。 | | |
|---|--|--|

| | 講座の名称 | 開催回数 | 参加延人員 | 講座の主旨と内容 |
|----|--------------|------|-------|--|
| 1 | 園芸教室 | 4 | 84 | 花や樹木の手入れ、管理方法から、草花の種からの育て方、鉢の寄せ植え、樹木の移植、用土作り、害虫の駆除などの園芸技術を学習する。 |
| 2 | 男の料理教室 | 4 | 73 | 手軽に作れる日常の惣菜など、初歩的な調理技術と酒の肴など、男性ならではの実践的な料理づくりを学習する。 |
| 3 | 東京湾学講座 | 5 | 132 | 富津岬を中心に東京湾岸の歴史や文化、自然などについて、幅広い知識を学び、また、探査会を実施し学習する。 |
| 4 | 健康スクール教室 | 5 | 67 | 自分でできる運動を中心に、日常的に体を動かす楽しさを学習する。 |
| 5 | 初めての紙バンド手芸教室 | 5 | 56 | 古紙から再生される環境に優しい紙バンドを使い、趣味のバッグや小物等の実用品からアートまで幅広い作品を作る。 |
| 6 | エコパッチワーク教室 | 5 | 75 | エコ、リメイクの意識を高めるため、古着の布と新しい布を組み合わせ使用し、パッチワークを学習する。 |
| 7 | 陶芸教室 | 8 | 62 | お皿や小鉢など、世界に一つだけの「私の器」作りを楽しむ。 |
| 8 | 古文書を読む会 | 4 | 55 | 市内に伝わる古文書から、歴史について学習する。 |
| 9 | 折り紙教室 | 4 | 40 | 指先を使うことにより脳の活性化を図るとともに、多様な紙を用いて、季節の飾りや折り紙の作品づくりを学習する。 |
| 10 | 国際交流協会英会話教室 | 26 | 227 | 日常英会話を習得し、外国人との交流を通して富津市の豊かな文化を醸成する。NHKラジオテキスト（基礎英語3）を使用し、平易な日常英会話を学ぶ。 |
| | 合計 | 70 | 871 | |

| | | |
|--|------------|---|
| ウ 市民会館・峰上地区公民館 | 教育委員会の自己評価 | B |
| <p>①主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民会館管理運営事業（28,118,585円） ・市民会館学級・講座関係活動事業（200,582円） ・峰上地区公民館管理運営事業（1,356,460円） 等 | | |
| <p>②令和2年度の取組の概要と効果（成果・課題等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備 空調冷却水ポンプ交換工事・空調オイルギアポンプ交換工事等の修繕を実施した。 ・学級・講座事業 課題別（教養・歴史文化・手工芸等）に7の主催学級・講座等（前年度比△10）を開設したが、感染症予防のため、開催数や開催回数が減少した。 学級・講座全体の開催数は32回（前年度比△63回）、参加延人数は370人（前年度比△1,307人）であった。 | | |

| |
|--|
| <p>○今後の取組の方向性（改善策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館、富津公民館、市民会館の3施設においては、公民館のあり方を教育委員会、社会教育委員、公民館運営審議会に諮り、検討を進めている。 ・学級、講座事業については、令和2年度は感染症予防対策による閉館の影響で回数・延べ人数ともに減少したが、今後も事業内容や学習手法等を十分検討し、利用者や各種団体等と連携して、参加しやすい環境づくりを進め、市民の学習意欲の向上と地域文化の発展に努める。 ・峰上地区公民館は、木造で築後58年が経過しており老朽化が激しいため、富津市公共施設再配置推進計画に基づき、施設の廃止（取り壊し）を検討中であり、地域住民への説明を行っていく。 |
|--|

| No. | 講座の名称 | 開催回数 | 参加延人員 | 講座の主旨と内容 |
|-----|--------------|------|-------|---|
| 1 | 歴史探訪講座 | 6 | 88 | 地域の歴史を文化・自然・人物・史跡などから再発見、学習する。 |
| 2 | ディスカバーふつつ | 3 | 49 | 「ふつつ」の良さ、すごさを再発見するための体験講座。各回15キロ程度歩く。 |
| 3 | エコ・スクール | 5 | 50 | 自然環境・動植物の環境から、ゴミ・リサイクル等の学習や現地視察を行い、幅広く学習する。 |
| 4 | 和菓子教室 | 5 | 62 | 日本古来から伝わる和菓子作りを基礎から学習する。 |
| 5 | 小筆教室 | 4 | 25 | 住所や名前など、生活に役立つ自分が習いたい文字を習う。 |
| 6 | プリザーブドフラワー教室 | 4 | 45 | 生花に特殊加工を施し、風合い、みずみずしさ、ソフトな感覚を長時間保つことができるプリザーブドフラワーを初心者の方でも楽しみながら様々なアレンジを学習する。 |
| 7 | かんたん手芸教室 | 5 | 51 | 身近にあるもので、暮らしに役立つ簡単なものを制作する。 |
| | 合計 | 32 | 370 | |

外部評価者による評価

外部評価者（Ⅰ）の評価

B

意見

令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止対策のため、生涯学習課、各館等共に多くの各種事業やイベント等の実施に向けた取組や準備が実らず職員の皆さんの心痛が覗えます。その様ななか、令和2年10月から図書管理システムのWEBリクエストサービスが開始されたことは評価できると思います。コロナ禍において更にそのサービスが有効に活用されることを期待し、今後も利用促進に向けシステムのPR等進めていただきたいと思います。富津市の有数の観光地の一つである鋸山は千葉県の名勝として都心からも近い人気のスポットです。日本遺産認定には至らなかったものの今後も国名勝に向け鋸南町と連携を図り知名度向上に取り組んでいただきたいと思います。各館では、施設の老朽化が進み修繕費の確保や維持管理の点検等苦勞が多いと推察いたします。公民館等は地域の市民の生涯学習やコミュニティ活動の場として非常に重要な場所となっています。計画的な施設改修やそのための予算確保に努め市民が安心して利用できる施設維持に努めていただきたいと思います。ワクチン接種が進み以前の生活が戻ってくることを期待し、各種団体や協力してくださるボランティアの皆様方と連携を密にし、事業等の再開に向けた取組や学級・講座の更なる充実に向け準備等進めていただけるよう期待します。

外部評価者（Ⅱ）の評価

B

意見

各事業については、新型コロナウイルス感染防止のため、各事業が中止または縮小されたことは、やむをえないことであると思います。このような中で、「放課後ルーム」や「学習サポート会」などの運営により児童生徒の学習支援を行ったことは、経済格差の中の子どもたちの支援に大いに寄与していると思います。また、多忙化する学校職員に任せることなく、事業を展開していることも大いに評価できると思います。今後、地域学校共同本部の設置に期待します。

図書館費・移動図書館事業や市内遺跡発掘調査事業、文化財関係事業では、コロナ禍の中、着実に事業を展開していると思います。富津市にある多くの文化遺産を周知すること、情報を記録化・累積化すること、伝統芸能の保存継承は未来の富津市の子どもたちに向けた重要な取組であると思います。また、図書の貸し出しは、利便性の向上もあり、今後の利用数の向上につながることを期待しています。

各公民館での講座や教室については、市民の多様な学習活動が保障されています。中止または縮小されたことは、やむをえないことであると思います。今後、少子高齢化や「新しい生活様式」の中で、市民のニーズをどのように捉えて魅力ある学習活動を提供できるか、また、開設をする上で、どのような条件整備が必要なのかを検討していただきたいと思います。

峰上地区公民館が施設の廃止を検討しているとのことですが、説明会では、旧天羽東中学校の跡地利用についても質疑に上がることが予想されます。市としての丁寧な説明をお願いします。

3. スポーツ・レクリエーションの振興

『富津市教育施策』の施策目標と到達点

| 指 標 名 | 平成27年度 | 令和2年度 (目標値) | 令和2年度 (到達点) |
|----------------|-------------------|----------------|----------------|
| スポーツ関連の行事参加者数 | 15,603人 | 16,000人 | 1,683人 |
| 総合型地域スポーツクラブの数 | 1箇所 〈平成22年度設立〉 | 2箇所 | 1箇所 |

スポーツイベントの様子



| | |
|---|---------------------|
| <p>(1) 生涯学習課の取組 スポーツ振興係</p> | <p>教育委員会の自己評価 C</p> |
| <p>①主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会体育振興事業 (1,558,759円) ・ふれあいスポーツフェスタ事業 (中止) ・スポーツレクリエーション推進事業 (イベント中止) (11,900円) ・市体育施設管理運営事業 (49,092,913円) 等 | |
| <p>②令和2年度の取組の概要と効果 (成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会体育振興事業 <ul style="list-style-type: none"> 感染症の影響により多くのスポーツイベントが中止となったが、市民がスポーツに親しみ、健康づくり・体力づくりができるよう、感染症対策を講じて一部スポーツ大会やスポーツ教室を実施した。 富津市長杯争奪少年野球大会 68人 (前年度比：△9人) 富津市教育長杯争奪少年サッカー大会 (中止) 第37回F T S少年剣道大会 (中止) 「県民の日」記念第36回グラウンドゴルフ大会 (中止) 「県民の日」記念第36回バドミントン大会 (中止) 第26回F T S杯争奪少年柔道大会 (中止) 第38回F T S杯争奪少年野球大会 68人 (△12人) 第25回健康ウォークラリー大会 (中止) 君津地区スポーツレクリエーション祭歩け歩け大会 (中止) 第38回F T S杯争奪インディアカ大会 (中止) 第28回F T S杯争奪ソフトバレーボール大会 (中止) 第25回F T S杯争奪グラウンドゴルフ大会 (中止) 君津地区スポーツレクリエーション祭 (インディアカ・ソフトバレー・グラウンドゴルフ) (中止) 富津市教育長杯争奪少年野球新人大会 (62人) 第7回ふれあいドッジビー大会 (中止) ふれあいスポーツフェスタ事業 (中止) 第44回ママさんバレーボール大会 (中止) 第36回市民ハイキング (中止) 第49回元旦歩こう大会 (中止) 第49回新春バドミントン大会 (中止) 第32回新春グラウンドゴルフ大会 68人 (△27人) スポーツ教室 (毎週土曜日) 1,417人 (△2,162人) ・市体育施設管理運営事業 <ul style="list-style-type: none"> 公益財団法人富津市施設利用振興公社・ミズノ共同体を指定管理者として適正な管理に努め、市民サービスの向上を図った。 総合社会体育館 メインアリーナ <ul style="list-style-type: none"> 448件 18,328人 (△179件 △28,209人) サブアリーナ <ul style="list-style-type: none"> 964件 6,301人 (+322件 +1,982人) | |

トレーニングルーム

433件 567人 (△666件 △1,081人)

会議室等

24件 135人 (△26件 △236人)

富津運動広場 46件 461人 (△1件 △369人)

新富運動広場 90件 4,939人 (△18件 △2,377人)

浅間山運動公園 テニス等 494件 3,027人 (△179件 △717人)

フットサル 2件 20人 (△7件 △68人)

野球 65件 2,591人 (△19件 △355人)

・市体育施設管理運営事業

総合社会体育館は、竣工から30年が経過し、老朽化しているため、不具合箇所等の調査を行い、今後の改修工事に係る設計に必要な基礎的資料を作成した。

・小中学校体育施設開放事業

60団体 5,979日 122,910人 (延数) (△11団体 △579日 △2,039人)

・第42回千葉県民マラソン大会

千葉日報社と開催について検討を行ったが、感染症対策のため、中止とした。

○今後の取組の方向性 (改善策等)

・社会体育振興事業

スポーツ推進委員やスポーツ・レクリエーション推進員と連携を図り、各種スポーツイベント等の参加者が増加するよう検討する。

また、身近な地域で生涯にわたってスポーツに親しめるよう総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。

・ふれあいスポーツフェスタ事業

コロナ禍での新しいふれあいスポーツフェスタの形を、スポーツ推進委員等と協議しながら実施する。

・市体育施設管理運営事業

総合社会体育館は、令和2年度に作成した基礎的資料を基に、改修の優先順位を定め、計画的に修繕を実施する。

・小中学校体育施設開放事業

各団体の利用調整を図り、健康増進、スポーツの振興に繋げていく。

外部評価者による評価

| | |
|---|---|
| 外部評価者（Ⅰ）の評価 | C |
| 意見 2020年（令和2年）に予定されていた東京オリンピック・パラリンピックの開催も延期となり市内の各種スポーツ大会、スポーツイベントの多くが中止という事態にあらためてコロナウイルスの脅威の大きさに驚きを隠せません。自己評価ではCとなっていますが、このコロナ禍のなかではやむを得ない評価になってしまったと心痛いたします。今後も少子高齢化で市内の人口減少が進み、更にコロナ禍で各種スポーツイベント等への参加者も減少傾向にあることはやむを得ないと思いますが、スポーツ推進委員やレクリエーション推進委員、各種スポーツ団体等の皆様と緊密な連携を図り、参加者増員に向けた新たな取組による展開を期待します。また、高齢者にとって健康寿命を延ばすことは非常に大事なことです。健康づくり課や各種団体と協力し健康や体力の増進に向けた取組を進めていただきたいと思います。「富津市教育施策」の施策指標である「総合型地域スポーツクラブの数」の目標値、2箇所は施策期間の5年間で実現できなかったことは残念です。次期の施策では目標値とはなっていませんがスポーツ振興を図る上では大きな存在となると思います。今後も新しい形でのスポーツ団体などの設立を後押しできるような環境づくりに市の協力をお願いいたします。総合社会体育館は他市に誇れる本市の施設の一つと考えます。建設から30年が経過し老朽化が進み維持管理等に大変苦慮されていることと推測いたします。市民のスポーツ振興を図る観点からも計画的に修繕策等進めていただきたいと思います。 | |
| 外部評価者（Ⅱ）の評価 | B |
| 意見 新型コロナウイルス感染防止のため、ふれあいスポーツフェスタをはじめとする多くの事業が中止となったことは、やむを得ないことであると思います。また、様々なスポーツ施設の利用人数についても、コロナ禍により減少していますが、各スポーツ団体との連携事業や社会教育施設等を活用した事業などにより、スポーツ機会の充実が図られ、生涯を通じて健康・体力の維持・増進するための基盤づくりに効果を上げていると思います。ライフステージや身体の状態に応じた各種スポーツやレクリエーションの機会を提供することは、市民のスポーツに親しむ心や健康の保持増進に効果をあげることが期待されます。従って、教育委員会が様々な年齢層の市民に運動の機会を提供することは重要なことであると思います。障害のある市民や高齢者が運動する機会についても、今後拡充していくように配慮していただきたいと思います。 スポーツ施設には常に補修・改修が不可欠であり、財政が厳しい中で維持・整備を進めていることは、大いに評価できることと思います。スポーツを含めて、受益者負担の考え方が薄れると施設利用の仕方が粗末になる傾向が出てくるように感じるため、適正な施設の利用について、周知を図ることも必要ではないかと思えます。 | |